

蓬萊町だより

第八十号

平成24年1月25日
発行 蓬萊町会

町内探訪(6)

勝林寺のこと

本城 康至

勝林寺と言っても、今はほとんどの人の意識から消えています。

平成十七年に町会長をお受けし、誰が名付けた蓬萊町と言う私に、井川錦子さんが古い図面を二枚とどけて下さいました。

その図面は相当な頻度で使われたものらしく、図説の部分が失われていましたが、勝林寺の平面略図に、現在の日医大通りと本郷通りに出ている形状そのままの路面道線が重ねて示してあるものでした。

もう一枚は、勝林寺の東側(日医大側)にあった井川家敷地の図面で、ほぼ現在の井川宅から中央宣伝に及ぶ敷地と建物の平面図面でした。町会名簿には、蓬萊町会の沿革年表があり、昭和二年に萬年山勝林寺住職窪田智膺氏が二代目町会長となったこと、昭和十六年に道路拡張のため、勝林寺が豊島区染井に転出した記録があります。

さて、町会長を下り、十月に井川さんのご案内で勝林寺ご住職窪田智良さんご夫妻にお会いし、寺の歴史、資料、転出時のことなど貴重なお話を伺いました。

また、昭和十年頃の町の道路事情も小野道路課長の好意で知見が拡がりました。

そんな折、十一月に三宅英三さんから、「本郷の寺院 街と寺誌」本郷仏教会編(昭和五十九年十月発行)を拝借……恥ずかしいことにこの本の所在を知りませんでした。

何故通称日医大通りの道線が向丘一丁目の方向にとつてあるのか疑問に思っていたことと、右記の本には当然ですが勝林寺の記載がありませんので、町会史の一助に、萬年山勝林寺 臨濟宗妙心寺派(禅宗)のことを、ご本尊 木造 釈迦如来坐像の由来から記録に止めることにしました。



勝林寺 釈迦如来坐像

写真のご本尊については、平成三年度からの豊島区の仏像調査において、中世仏像研究家の清水真澄氏(当時成城短期大学学長)が詳細な分析を行い、学術誌「三浦古文化」に発表された内容を、平成五年三月法要時に檀家の方に説明されています。

豊島区は、「豊島区の仏像」と題し平成十二年に教育委員会が公表しました。

このことが、当時の檀家総代の方による「萬年山勝林寺の沿革概要」の取りまとめ(平成五年)、そしてお寺の栞「萬年山勝林寺」14頁(平成七年)の現住職による取りまとめとなったようです。

ご本尊は今、豊島区の有形文化財に指定されています。

さて、この木造釈迦如来像は、像高50・5センチで、その形式は天平時代八世紀後半の形式を継承し、造形と造像技法の比較から、制作は平安時代初期九世紀後半、あの貞観の前後と推定され、造立されたところは畿内と推定されています。

ただ、両手首から先が後補であるので、平安時代前期における薬師信仰の隆盛と、その遺品の多さから、薬師如来像であった可能性もあるとのこと。

この研究で、本如来像が都内で最も古く、関東にある平安時代前期の数例、東北地方の数例とある中で最古のものであることが証明されています。

しかし、お像の伝来については再三の寺の移転・火災・戦災のためほとんど不明とのことでした。ただ、先代久猶和尚様が空襲の度毎にお像を毛布に包み防空壕に運ばれて、今お像が御座すことを明記します。

勝林寺のことの始めに、ご本尊の抄録をしたのは、七百年に及ぶ寺の来し方は、唯一ご本尊の存在が語るからです。

さて、お寺の歴史については、前記沿革概要と兼に書かれている幕府の公文書である寺社書上が根拠となっています。

沿革概要を書かれた檀家総代の方は、家康入府以来の当寺の檀家であった旗本中西家の子孫で、松平家と姻戚関係にあり、松平・中西両家の文書を自由に見られる歴史家でした。沿革は十三世紀末から老中田沼意次が寺の中興開基となるまでを記し、平成五年時の檀家総代の方がまとめたものです。

したがってこの沿革は松平家（家康は松平総領家の長）一族から見た一つの歴史記録としての価値があります。

また、寺社書上は、文政九年（1826）に勝林寺が幕府に提出した駒込寺院書上（勝林寺が幕府に提出した地誌御改調帳）です。

ここでは、取り敢えず夫々に出てくる寺の名称と年代を列記してみました。

沿革概要 Ⅱ 崇呼山少林寺（1300年代

初頭）— 崇呼山正林寺（1524年）— 萬年山正林寺（1591年）— 萬年山勝林寺（1600年）— 現在に至る。

寺社書上 Ⅱ 嵩呼山心宗寺（1615年）— 萬年山少林寺（1649年）— 萬年山勝林寺（1724年）

右について夫々一言付言すれば、沿革の勝林寺は家康の命によるものであり、寺社書上の萬年山勝林寺への改名は、その前年に松平乗邑が老中となつていふこととす。なお、嵩呼山心宗寺の開山が寺院諸法度・武家諸法度と同年であることも首をかき上げたくありません。そしてつまるところは萬年山勝林寺の名前に戻っています。

嵩は単にたかい山の意ですが、崇はたかい・たふとい・すぐれる・あがめる・おもんずる（古い漢和辞典）で、萬は永遠の意です。したがって、心宗寺は臨済宗としての位置づけの低い、私見を不遜にも添えると思えば、ご本尊の御座さない寺であつたと考えられます。しかし、心宗寺の心宗は心が「宗」にあるの意と解されまので、このお寺の存否も含め考証を疎かにするわけには参りません。

以上嵩呼山心宗寺について多言するわけは勝林寺の明暦の火事（1657年）被災の有無との関係の説明にも重要だと思つていふからです。このことはお寺の位置の検証とも係わりがあり、他のことも含め目下考証材料を収集中です。

場所と言えば江戸から明治中頃までの図に示される寺名は大体が正林寺となつていふものにもわけがありそうです。

いきなり「しょうりん寺」のことを、主に近世初期から書き始めたのは、公的にお寺が開創を元和元年にしているからではありません。お寺を宗派としてではなく「宗」としてみると、近世は権力のためにその「宗」の姿をうすめられはじめた時代だつたからでした。

中世は全く逆と云いますか、「宗」が権力を支え、時には「宗」の寺が地域社会を支配しました。日本人の共有意識の根っこはこの時代に形成されたときえ云われています。

沿革の記述で重要な史実は、太田と徳川との関係の中で、関東の豪族太田の末裔の女性が家康の側室となり、彼女が勝林寺の歴史にかけがえない存在だつたことでしょう。今様に言えば、テレビが西方の姫物語を取り上げていますが、関東の姫の話もあるよと言ふわけです。なお、江戸の研究家で有名な鈴木理生さんは、江戸前島の領主であつた円覚寺（臨済宗）の了解なしに道灌は江戸に入れなかつたと述べています。同じ宗派の寺として勝林寺もかわりがあつたかもしれません。

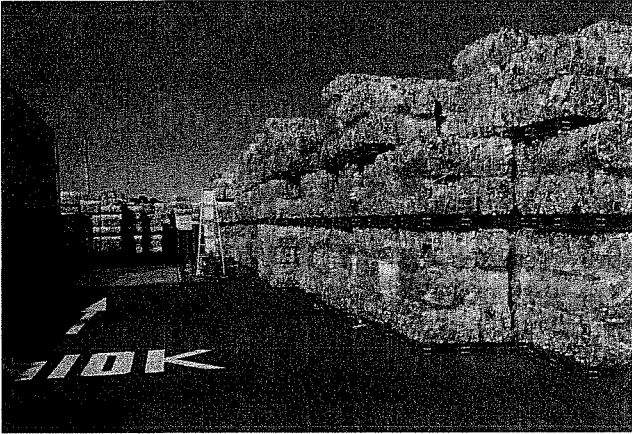
明治期の初めは他のお寺と同様苦難の時でしたが、その後は「小さな国」の力となつた人のお寺とし、また小さな地域社会の人のためのお寺となりました。本稿その二は、私の勝林寺も語りとする積りです。

ペットボトルリサイクル工場の見学

婦人部長 花岡 幸子

十一月二十一日、江東区の南端にあるペットボトルのリサイクル工場の見学に行つて来ました。リサイクル事業の関連工場見学は、区が毎年、環境意識の向上ために行つていけるものです。区内の各町会から総勢四十五名の参加があり、大型バス一台に乗り、お台場の先にあるペットボトルリサイクル工場へと向かいました。

この工場では、回収されたペットボトルを選別・粉碎・洗浄・乾燥などの工程を経てフレークにして、繊維会社やシートメーカーなどに原料として販売しています。



東京ペットボトルリサイクル (株)

文京区は区内に資源の中間処理施設やストックヤードがなく、回収したペットボトルはほぼそのままの状態でリサイクル工場まで運ばれます。文京区から出るペットボトルはラベルやキャップがきちんと外されていておむね綺麗とのことでした。

これからも、資源の有効活用、二酸化炭素の排出量削減のため、以下のルールを守つてペットボトルのリサイクル活動を推進していきましよう。

① キャップは必ずはずす、ラベルはできるだけはがす。② 中をすすぐ。③ 横方向につぶす。④ 決められた日時に決められた場所に出す。

防災マップの作成

防火防災部

東日本大震災を受け「東京都地域の底力再生事業」からの助成事業で、町内防災マップの作成が各町会防災部に依頼されました。六月二十九日に向丘地域センターにおいて講習会があり、白地図、掲載内容の説明をうけ、下原稿の作成を開始しました。

夏の暑い盛りの八月十六日防災部と婦人部代表計八名で町内の消火器、消火栓、防災井戸等を確認してマップに追加記入し、九月末に初版が完成しました。十一月二十七日には誠之小学校で完成式が行われました。町会会員の皆様には近日中にお届けする予定です。

いざというとき慌てないようこの防災マップを活用してください。毎月一日は「防災の日」です、災害用伝言ダイヤルを試すことができますのでお試し下さい。

蓬菜句壇

おしゃべりと無口が混じるちゃんこ鍋 池田南北
林檎剥く話の芯に触れぬまま 山口みみ子
煮ごりや世に背くほど度胸なく 馬場珊瑚
つぺんに予約札貼る一の酉 小野みどり
三の酉八百屋お七と擦れ違ふ 野出園蛸
好き嫌い分かれる談志冬に逝く 由川玉寿郎

計報

梶谷 かん 様	91歳	向丘2-35-8
猪熊 ノブ 様	84歳	向丘2-24-1
竹中 俊之 様	69歳	向丘2-35-8
室川 幸子 様	70歳	向丘2-15-8
倉田 美恵子 様	92歳	向丘2-18-4
石田 太一 様	85歳	向丘2-18-13

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

東日本大震災 チャリティ大観音盆踊り



町会活動の概要

平成23年6月から
平成23年12月まで

- 6月2日「婦人部」赤十字募金
- 8日「婦人部」駒込母の会総会
- 10日「防犯部」防犯功労表彰式駒込警察署
- 10日避難所運営協議会全体会議
- 27日第一回日医大工事協議会
- 28日駒本小学校学校運営協議会
- 28日向丘地区青年婦人連合協議会
- 29日「防火防災部」防災マップ作成講習会
- 7月4日「婦人部」日赤献血 於文化シャッター
- 14日「婦人部」洗濯たたみ 於くすの木の郷
- 24日婦人部定例会 於常瑞寺会館
- 27日第二回日医大工事協議会
- 28日「婦人部」草むしり 於根津神社つつじ苑
- 8月3日「婦人部」日赤奉仕団研修会
- 12日盆踊り実行委員会 於常瑞寺会館
- 16日防災マップ作成 町内現場調査
- 26日駒込警察「振り込め詐欺撲滅キャンペーン」
- 28日東日本大震災チャリティ大観音盆踊り
- 9月5日てんぷら会 於海蔵寺
- 18日「防犯部」景観対策活動
- 21日「交通部」秋の全国交通安全運動
- 22日「防犯部」全国地域安全会議
- 25日お寺のよこ運営協議会
- 26日第四回日医大工事協議会
- 10月1日駒本小学校運動会
- 2日向丘地区連合大運動会
- 12日防犯協会「文京区地域安全のつどい」
- 15日「管内合同活動について」講演会
- 19日災害ボランティア いわき市久ノ浜
- 21日町会功労者表彰式
- 23日向丘地区対「駒本まつり」
- 24日第五回日医大工事協議会
- 30日向丘地区対策行事 自然の中でいろいろな体験

- 30日「防災コンクール」 於本郷小学校
- 11月15日駒込母の会 立川都民防災教育センター見学
- 16日駒込警察署 振込め詐欺撲滅キャンペーン
- 17日本郷消防署 東京臨海広域防災公園視察
- 21日ペットボトルリサイクル工場見学
- 27日「防災マップ」完成式 於誠之小学校
- 12月3日四町会対抗高齢者親睦ゲーム大会
- 1日向丘地区対策行事「ケーキ作り」
- 23日歳末夜警巡回

餅つき大会のご案内

来る二月十九日（日曜）に餅つき大会を行います。お誘い合わせの上ご参加ください。

編集後記

明けましておめでとうございます。
大震災とそれに追い打ちを掛けるように原発事故が発生した苦難の年が去り、新しい年が明けました。今年は夢と希望の持てる良い年になりたいものです。



編集委員

本城 康至 坂本 禎一
大熊 敏幸 猪熊 良一

義捐金が十四万百七十八円集まりました。ご協力ありがとうございました。

十月十九日、光源寺様及び町会有志総勢十一名でいわき久ノ浜のボランティア活動に参加し、家財道具等の後片付けをしました。ご協力頂いた義捐金で被災者希望の品々を揃えてお届けしました。